

生活科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成21年11月〇日(〇)
- 2 学年 第1学年〇組
- 3 場所 1年〇組教室
- 4 単元について「カブトムシとなかよし(げんきにそだて)」

ねらう子どもの姿

- 生き物を育てることにより、成長や変化の様子に関心をもち、親しんだり、最後まで責任をもって世話をしたりして大切にしようとしている。(関心・意欲・態度)
- 生き物の成長や変化に合わせて世話の仕方を変えたり、生き物への気付きを表現したりすることができる。(思考・表現)
- どんな生き物にも生命があり成長していることに気付いている。(気付き)

単元について

- カブトムシを触ったり眺めたりして親しく接しようとしたり、成長を楽しみにしながら世話をしたりすることができる。(関心・意欲・態度)
- カブトムシと触れ合ったり世話をすることを通して気付いたことや疑問に思ったことを表現することができる。(思考・表現)
- 成長を喜んだり死を悲しんだりすることを通して、カブトムシも生命があり成長していることに気付くことができる。(気付き)

指導にあたって

- 継続的に世話をし繰り返し生き物と関わることによって、生命あるものを大切にしたり生命の尊さを実感することができる。(日常生活とのつながり)
- 継続的に飼育活動をすることによって、生き物への親しみの気持ちが生まれ、責任感が育ち、生き物の立場に立った見方・考え方ができる。(自己の中の他の側面とのつながり)
- 活動の過程で生き物の成長の様子や生育環境に関心をもつことによって、第2学年での動物の飼育活動に広がりや深まりをもたせることができる。(以後の単元とのつながり)

現在の子どもの姿

- 子どもたちはこれまでに生き物と触れ合う機会が少なく、教室では以前飼っていた金魚の世話を交代でする程度であった。最近では2年生の友だちと一緒に一部の子どもたちが校庭の隅にいるオンブバッタやダンゴムシ、池のカダヤシやエビを探して遊んでいる。(関心・意欲・態度)
- アサガオの栽培ではアサガオの色の違いなどをじっくりと観察し、気付きを自分なりに表現することができた。秋になりこぼれた種から芽を出したアサガオがどうなるのかに数名の子どもが関心を示し観察をしているが、今のところはそのまま大きくなると予想している様子である。(思考・表現)
- 家庭でペットを飼っている子どももいるが、生き物に生命があることや成長していることに気付いた発言はほとんど聞かれない。(気付き)

5 単元の目標と評価規準

○ 単元の目標

カブトムシを飼育して、その成長や変化の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようになる。

○ 単元における評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
<ul style="list-style-type: none"> カブトムシの成長を楽しみにしながら世話をしようとしている。 カブトムシを触ったり眺めたりして親しく接しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> カブトムシと触れ合うことを通して、気付いたことや疑問に思ったことを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 成長を喜んだり死を悲しんだりすることを通して、カブトムシも生命をもっていることが分かっている。 カブトムシの成長や変化の様子に気付いている。

6 指導と評価計画（全5時間）

次	学 習 活 動	評価の観点・評価規準（方法）		
		生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
第 一 次 ③ ・ 本 時 2 / 3	カブトムシがやってくる ○ 教室でカブトムシを育てることについて話し合う。 ○ カブトムシを育てる計画を立てる。 ○ カブトムシを触ったり眺めたりする。 ○ 気付いたことや疑問に思ったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> カブトムシの成長を楽しみにしながら世話をする計画を立てようとしている。 (行動・発言) カブトムシを触ったり眺めたりして親しく接しようとしている。 (行動・発言) 	<ul style="list-style-type: none"> カブトムシと触れ合うことを通して、気付いたことや疑問に思ったことを表現することができる。 (発言・ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> カブトムシの体の様子や動きのおもしろさに気付いている。 (発言)
第 二 次 ② ・ 常 時 活 動	カブトムシを育てよう ○ カブトムシの世話をする。 ○ 気付いたことや疑問に思ったことを表現する。	<ul style="list-style-type: none"> カブトムシの成長を楽しみにしながら世話をしようとしている。 (行動) 	<ul style="list-style-type: none"> カブトムシの世話を続ける中で、気付いたことや疑問に思ったことを表現することができる。 (発言・ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> 成長を喜んだり死を悲しんだりすることを通して、カブトムシも生命をもっていることが分かっている。 (行動・発言・ワークシート) カブトムシの成長や変化の様子に気付いている。 (行動・発言・ワークシート)

7 本時の目標

- ・ カブトムシに関心を持ち，進んでかかわろうとすることができる。
- ・ カブトムシの体の様子や動きのおもしろさに気付く。

8 本時の学習展開

子どもの活動	○教師の支援 ・環境設定	評価規準・評価方法
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わあい，カブトムシがきたぞ。 ・ 本物のカブトムシってどんな姿をしているんだろう。 ・ 早くカブトムシに会いたいな。 	<p>○ カブトムシとの出会いを印象づけるため，子どもたちにはカブトムシが見えないようにしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型ケースに入ったカブトムシ ・ 成虫の写真 	
<p>カブトムシくんとあそんで，ひみつをはっけんしよう！</p>		
<p>2 カブトムシを触ったり眺めたりしながら，グループでじっくりと観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かわいいな。 ・ こわいよ。 ・ 触りたいけれど，どうしよう。 ・ ぶにゅぶにゅしている。 ・ 足が体の前の方だ。 ・ 優しくしないと弱るよ。 ・ つつくとこっちを向いたよ。 ・ あっ，なんだか怒っているみたい。 	<p>○ 子どもの実態に応じて様々な大きさの幼虫を用意したり，言葉掛けをしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観察用のバット ・ 小筆 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カブトムシを触ったり眺めたりして親しく接しようとしている。(行動・発言)
<p>3 カブトムシを観察して，気付いたことや疑問に思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちっちゃな毛がたくさん生えているよ。 ・ すごく大きな歯をしているね。 ・ おとなのカブトムシと違って体がとても柔らかかった。 ・ イモムシと違ってカブトムシの足は前の方についている。 ・ 丸まっていて赤ちゃんみたい。 ・ 足は細くてロボットみたい。 ・ 何を食べるのかな。 ・ どうやっておとなに変身するんだろう。 	<p>○ 子どもたちの見付けた「カブトムシのひみつ」を「みつける」「くらべる」「たとえる」「ふしぎ」に分けて板書する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ カブトムシの体の様子や動きのおもしろさに気付いている。(行動・発言)
<p>4 本時の学習活動を振り返り，グループでカブトムシの世話をしていくことを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早くカブトムシのお世話がしたいな。 ・ どんな名前にしようかな。 	<p>○ グループで世話をするカブトムシとの出会いを楽しみにし，その世話に意欲をもつよう言葉掛けをする。</p>	